

平成29年度

事業実施報告書



公益財団法人
やまがた健康推進機構

1 概 要

平成 29 年度は、2 つの具体的な目標を掲げその実現に向け取り組み、事業を展開してまいりました。

一つ目は、「顧客満足度日本一」です。受診者満足度を高め、口コミによる受診拡大のため、上期・下期に受診者アンケート調査を実施しました。満足度 90%以上の目標に対し 82%に留まる結果で、不満足と指摘された「所要時間と接遇」は、次年度の改善重要事項とし、検診センター毎の課題に合った対策が急務のほか、検診委員会において厚生労働省のがん検診のプロセス指標値に基づく検診成績などを報告し、精度管理面でのアドバイスをいただきました。

二つ目の安定経営への道筋をつけるため「検診事業収入 33 億円達成」のチャレンジとして、山形検診センターに渉外課を設けるとともに、専門の講師を招へいし各検診センターの渉外担当者向けの研修会を開催、検診センター毎の訪問数の目標値等を設定し、計画的な渉外活動を目指しましたが、日々の業務に追われたこともあり組織的な体制が図れず活動の強化に繋がりませんでした。反面、支出面では血液検査に係る外部委託を拡大させるなど、組織を挙げた費用抑制対策が浸透したことにより、将来の投資に備えた積立等を行い、事業の安定運営に繋げることができました。

また、山形県からの受託事業として、平成 29 年 10 月 1 日「山形県がん総合相談支援センター」を山形検診センターに、同支所を庄内検診センターに開設し、県内全域を対象として、がん患者や家族などの不安軽減を図るための面談や電話等による無料相談を開始しました。その中で、がん総合相談支援に関わるピアサポーターの養成講座開催を始めとして、セミナーや交流会等の活動支援を行いました。その他、山形県から「若者に対するがん予防支援事業」を受託し、20 代から 30 代の若者を対象に、がんに関する正しい知識やがん予防の普及啓発などの健康教育と併せて、大腸がん検診、肺がん検診、胃リスク検査、乳房超音波検査から希望の項目を選択し受診する検診・検査を実施するなど、山形県が目指す「健康長寿やまがた」の実現の施策に協力してまいりました。

第一次中期運営計画は、外部有識者による中間評価をいただき、目標達成に向け更に重点的に取り組みを進めていくべき課題を明らかにしました。

以下、10 の施策についての事業の詳細は、以下のとおりです。

平成 29 年度 各種事業評価結果（一覧）

課別評価結果

課 名	達 成	達成比率	一部達成	未達成	未着手	未実施	合計
検診課	16	37.7%	8	12	4		40
渉外課	3	27.3%	1	5	2		11
事務管理課	11	27.5%	8	18	2	1	40
計 ※	27	30.7%	17	35	8	1	88

※課別評価件数はそれぞれの事業担当件数とし、総数は検診課と渉外課による共同事業（3 件）を 1 件として集計。

施 策 1 広報事業の推進	一部達成	
(1) -①新聞 3 紙（5 回）に各イベントやキャンペーンの周知広報にあわせ受診勧奨を掲載	一部達成	事務管理課
(1) -②山形県主催の実行委員会方式の「やまがた健康フェア」に実行委員として参画	達成	
(1) -③各検診センターで独自のイベント企画、実施	達成	
(1) -④県民参加型普及啓発イベントの企画、実施	達成	
(1) -⑤広報・啓発による、「がんに対する知識」や「イベント等の認知度」についてアンケート調査	未達成	
(2) -①防煙に加え、がん予防に関するパンフレットの配布	未達成	
(2) -②教員等を対象とした、がん教育に関する研修会の検討	未達成	検診課
(2) -③若者に対する健康、がん教育の推進	達成	
(3) -①事業所担当者向け研修会、市町村担当者向け研修会の開催	未達成	渉外課
(3) -②出前講座等の積極展開	一部達成	検診課
(4) -①ホームページ、SNS 等の充実	一部達成	事務管理課
(4) -②機関誌「しあわせ」内容の充実と配布等の拡大	一部達成	
(4) -③ポスター等の作成、その配布拡大	達成	
(5) -◇広報教育媒体の貸出し (5) -◇健康づくり支援 (5) -◇本部等構成団体との連携	一部達成	

施 策 2 調査研究事業の推進	一部達成	
(1) -①事業年報を見やすく、また、経年変化が分かり易い統計データに考察等を盛り込んだ内容に充実	未達成	検診課
(2) -①研究事業等への協力、データ提供	達成	
(2) -②外部団体からの協力依頼に対し、検診・検査データを提供	一部達成	
(3) -①検診・検査データを活用し、職員が学会等で研究発表	未達成	
(3) -②全国組織の学会での研究発表	未着手	

施 策 3 検診受診率と精密検査受診率の向上	一部達成	
(1) -①県が新たに設ける「がん検診推進強化月間」に実施予定の「がん検診受診率向上キャンペーン」に呼応し、県内の関係機関とともにがん検診の受診勧奨運動を全県的に展開	未達成	事務管理課
(2) -①未受診者対策強化のため、各検診センターで工程表を策定し勧奨実施	未達成	渉外課
(2) -②人間ドック受診者への事前連絡の拡大	未達成	検診課
(2) -③協会けんぽ受診勧奨事業所リスト掲載の全事業所訪問（事業所電話勧奨）	未達成	
(3) -①協会けんぽと連携し、指導実施、対象者の確保、拡大	未達成	

(3) -②指導結果の効果等の分析、評価を確実に実施	達成	検診課
(4) -①職域検診における精検受診率の向上	一部達成	

施 策 4 満足度と質の高い検診サービス等の提供	一部達成	
(1) -①がん総合相談支援事業の受託	未達成	検診課
(1) -②ピアサポート活動の推進	達成	
(2) -①受診者アンケート調査の実施	一部達成	
(2) -②H P V 併用検診の拡大	達成	検診課
(2) -③乳エコー検診	達成	渉外課
(3) -①検診時待ち時間の短縮	未達成	検診課
(4) -①指導者養成、接遇コンテストや標語ポスター掲示、接遇チェック等による職員意識の向上	未達成	
(5) -①正確で迅速な検診結果通知	未達成	
(6) -①県事業（がん検診受診率向上キャンペーン）に呼応し、休日の子宮頸がん、乳がん検診を拡大	施策 3-(1)再掲	検診課 渉外課
(6) -②山形検診センターにおいての時間外乳がん検診を通年実施	達成	渉外課
(6) -③検診時の託児サービスを事業所・自治体と調整・検討	未達成	
(7) -①高度医療を担う病院との役割分担、精密検査実施機関との連携強化における課題を整理し、新しい検査技術の導入に向けた検討、準備を行う	未達成	
(7) -②-1 腫瘍マーカー	未着手	検診課
(7) -②-2 胃内視鏡検査導入に向けた検討	未着手	
(8) -①出前講座、事後指導（禁煙指導等含む）の積極展開、自治体・事業所が行う健康支援事業への協力	達成	

施 策 5 検診の精度管理と事業評価	一部達成	
(1) -①6つの検診委員会、県生活習慣病検診等管理指導協議会における精度評価等を実施	達成	検診課
(1) -②精度管理と事業評価	一部達成	
(1) -③外部機関による精度管理評価	一部達成	
(1) -④外部機関による評価の検討	未着手	事務管理課
(1) -⑤専門技術職の技術向上	達成	検診課
(2) -①読影医師の確保	達成	
(2) -②機構独自の症例検討会を各検診センターで開催	一部達成	
(2) -③高速ネットワークを活用したマンモ遠隔読影の充実	達成	事務管理課
(3) -①平成 28 年度整備体制の実行	未達成	
(3) -②職員への周知・伝達の実態調査	未着手	

施 策 6 I C T の積極的な活用と新しい検査技術の導入	一部達成	
(1) -①医療ネットワーク（ちようかいネット）の対象拡大	一部達成	検診課
(2) -①新たな基幹システムへの更新	達成	
(3) -①骨粗しょう症検診	達成	
(3) -②C O P D 検査	達成	
(3) -③人間ドックにコース別設定	未着手	
(3) -④腫瘍マーカー導入に向けた検討	施策 4-(7)再掲	
(3) -⑤胃内視鏡検査導入に向けた検討	施策 4-(7)再掲	
(3) -⑥C T 検査	施策 4-(7)再掲	
(3) -⑦新しい検査技術の導入に向けた情報収集、検討	未達成	

(4) -① Pマーク取得の検討	未達成	事務管理課
(4) -②内部監査による実行確認、管理ツールによる情報漏えい監視強化	未達成	

施 策 7 計画的な検診機器等の整備更新	一部達成	
(1) -①アナログ車からDR検診車への更新	達成	事務管理課
(2) -①固定資産等の長期使用	達成	
(3) -①検診車の効率的な配車	未達成	検診課

施 策 8 安定的な収入確保対策	未達成	
(1) -①受診者数の増加対策と数値目標を各校診センターで設定	未達成	渉外課
(2) -①がん検診減少対策の策定	未達成	
(2) -②WEB予約システムを全校診センターに拡大	未着手	
(3) -①山形検診センターに渉外課を新設し、体制を強化	一部達成	事務管理課
(4) -①検診料金の見直し	一部達成	
(4) -②渉外活動時の値引きの基準や競争入札時の対応方法方針決定	一部達成	
(5) -①維持会募金	未達成	
(5) -②複十字シール募金	未達成	

施 策 9 効率的な業務の執行	一部達成	
(1) -①胃がん検診受診者減少対策	未着手	渉外課
(1) -②収入増加対策	施策8-(1)再掲	
(1) -③人件費を含めた費用抑制対策	達成	事務管理課
(1) -④検診料金の改定	施策8-(4)再掲	
(1) -⑤長期性預金の積立	未実施	
(2) -①職員提案制度の充実、実施	達成	
(3) -①機器等選定委員会、業者指名選定委員会、競争入札制度等の開催、実施	達成	
(3) -②外部委託	達成	
(4) -①中期運営計画の評価と見直し	達成	

施 策 10 変化に対応できる柔軟な組織づくりと人材育成	未達成	
(1) -①5つの検診センターのあり方 素案作成	未達成	事務管理課
(1) -②最上検診センター改築整備計画 素案作成	未達成	
(1) -③各校診センターの機能、業務量、職員構成等の検証を行い今後の適正な人員配置を検討	一部達成	
(2) -①医局医師の新たな体制整備	達成	検診課
(3) -①人件費等	施策9-(1) 施策10-(5) 再掲	事務管理課
(3) -②働く職員が報われる給与制度の検討	未達成	
(4) -①変化に対応できる人材育成のための中長期的な研修計画の策定	未達成	
(4) -②職員考課制度の運用拡大の検討	未達成	
(4) -③職員の意識改革と活力ある職場づくり	未達成	
(5) -①同一賃金同一労働への対応検討	未達成	
(5) -②ワークライフバランスの推進	未達成	
(6) -①環境保全エコオフィス活動	一部達成	
(6) -②蔵王噴火の場合の災害対策の策定	未達成	

2 各種事業

施策1 広報事業の推進

【事業推進の基本的考え方】

- ・様々な機会、媒体を活用し県民に対して食生活や生活習慣の見直し、がん予防、検診の重要性等に関する知識の普及啓発を行います。
- ・事業推進にあたっては、広報目的を明確にし、費用対効果の観点も十分に検討しながら、効果的なものとなるよう検証していきます。

【主な目標】

- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| ・県民参加型普及啓発イベント | H30 500人以上 (H25 180人) |
| ・県民参加型普及啓発イベント | H29～ 実行委員会方式への見直し |
| ・若年者に対する健康、がん教育の推進 | H30 20校以上 (H25 0校) |
| ・健康まつり等への参画 | H30 10ヶ所以上 (H25 5ヶ所) |
| ・出前講座の開催 | H30 年間15回以上 (H25 6回) |
| ・ホームページ閲覧数 | H30 年間15,000件以上 (H25 12,000件) |

【評価：一部達成】

(1) 重点啓発月間(9～10月)での啓発

① 新聞3紙(5回)に各イベントやキャンペーンの周知広報にあわせ受診勧奨を掲載 【評価：一部達成】

【達成水準】 がん検診の啓発を重点的に行う 28市町村(全検診受委託市町村) 広報誌の掲載

- ・検診を受託している25市町村の広報紙(9月～10月)にがん検診に関する情報を掲載。その他は、以下の通り。

掲載月	掲載数	内 容
5月	1回	「世界禁煙デー」にあわせ、周知及び検診受診を呼びかけた
8月	2回	「がん征圧月間、結核予防週間」の周知及び検診受診を広く呼びかけた
9月	2回	「がん征圧月間、結核予防週間」の周知及び検診受診を広く呼びかけた がん検診推進強化月間(がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間)にあわせ、知識啓発と検診受診を呼びかけた

② 山形県主催の実行委員会方式の「やまがた健康フェア」に実行委員として参画 【評価：達成】

【達成水準】 無料クーポン80名以上配布、パンフレット3,000部以上配布

- ・9月30日、10月1日に「やまがた健康フェア2017」に実行委員として参画し、機構と山形県がん総合相談支援センターブースを出展。無料骨密度測定160名実施、子宮・乳がん検診の無料クーポン券を84名に配布及びがんに関するパンフ等2,000名(2種4,000部)を配布。
- ・10/1、山形県がん総合相談支援センターのステージイベントを企画。国立がん研究センターがん対策情報センター長 若尾医師による基調講演に100名が参加。センター開設周知・PRとがんに関する啓発。

③ 各検診センターで独自のイベント企画、実施 【評価：達成】

【達成水準】 パンフレット 2500 部以上配布

- ・各検診センターにおいて、がん征圧月間、結核予防週間、また、山形県の「がん検診推進強化月間」等に合わせた独自の啓発活動を展開。各市町村及び各団体が主催するイベントへ協力し、健康やがんに関するパンフレットの配布、パネル・媒体物の展示等による啓発。
- ・パンフレットの配布は、1,400 名（2,800 部）で詳細は、以下の通り。

開催イベントと実施概要	
・イオンモール山形南	10/20 実施 200 名（2 種 400 部）配布
・庄内町文化創造館 響ホール	10/10 実施 350 名（2 種 700 部）配布
・新庄市ゆめりあ	6/24 実施 100 名（2 種 200 部）配布
・米沢市生涯学習フェスティバル	10/7.10/8 実施 400 名（2 種 800 部）配布
・マックスバリュ南陽店	9/26 実施 350 名（2 種 700 部）配布

④ 県民参加型普及啓発イベントの企画、実施 【評価：達成】

【達成水準】 18 か所以上

- ・啓発イベント 2 か所参画、健康まつり等イベント 9 か所参加。実施概要は以下の通り。

イベントと実施概要	
・リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2017 鶴岡（第 3 回）・・・実行委員として参画 鶴岡公園疎林広場で 8/26、27 の 2 日間開催、一般参加者 100 名	
・やまがたピンクリボンフェスタ 2017（第 11 回）・・・やまがたピンクリボン運動の実行委員として参画 9/17 に日本一の芋煮会フェスタでブース出展、 本フェスタ 2017 を 9/30、10/1 に山形ビッグウイングで「やまがた健康フェア 2017」にブース出展（約 400 名参加）	
・東根市生涯学習フェスティバル 11/12 参加（骨密度無料測定 195 名実施）	
・遊佐町健康まつり・フェスタ 10/21、11/3～5 参加	
・新庄市健康福祉まつり 6/24 参加	
・真室川町健康福祉まつり 9/10 参加	
・最上町健康まつり 11/12 参加	
・大蔵村健康のつどい 3/4 参加	
・デイサービス結いのき健康教室 10/22 参加（骨密度・体脂肪測定 16 名実施）	
・米沢市万世地区文化祭 11/19 参加（健康講話）	
・公立置賜病院健康まつり 9/23 参加	

⑤ 広報・啓発による、「がんに対する知識」や「イベント等の認知度」についてのアンケート調査 【評価：未達成】

【達成水準】 アンケート調査 認知等 60%以上

- ・広報・啓発による、「がんに対する知識」や「イベント等の認知度」について、11 月～1 月の期間に、全検診センターの施設内で行う受診者を対象にアンケート調査を実施し 5,431 名から回答を得た。
- ・アンケートの「県や全国におけるがんや結核の発症状況」についての認知度は、15～36%に留まっており、目標値の 60%には及ばない結果。

(2) 児童、生徒に対する健康教室、がん教育の推進

① 防煙に加え、がん予防に関するパンフレットの配布 【評価：未達成】

【達成水準】 県内中学校 50 校以上

- ・防煙教育用パンフレット「タバコと健康」を県内中学校にアンケート調査し、希望のあった 34 校、5,900 部を県内市町村教育委員会及び各教育事務所に配布。（4 年目）

・防煙に加え、がん予防に関するパンフレットの配布を提案したものの、担当部局との調整がつかず、従前通り「たばこと健康」（防煙パンフ）の配布に留まる。

② 教員等を対象とした、がん教育に関する研修会の検討 【評価：未達成】

【達成水準】 支援案の計画工程表策定

・がん教育は、研修会の単独実施から、機運醸成を図るため教員等への講演会を平成 30 年 11 月下旬に県と共催、若しくは、後援を行うことで了解を取り付けたものの、計画工程表は未策定。

③ 若者に対する健康、がん教育の推進 【評価：達成】（新規：山形県からの受託事業）

【達成水準】 20 代から 30 代の若者に対し、がんに関する正しい知識やがん予防の普及啓発などの健康教育と 4 項目の検診・検査を 1,000 名に実施

・申込希望者が多く、事業開始早々受講者枠を拡大して実施し、実績は以下の通り。

	村山地区	庄内地区	最上地区	置賜地区	合計
	山形 C	庄内 C	最上 C	米沢・南陽 C	
大腸がん検診	190 名	67 名	49 名	43 名	349 名
肺がん検診	103 名	35 名	31 名	23 名	192 名
胃リスク検査	265 名	70 名	72 名	70 名	477 名
乳房超音波検査	218 名	36 名	—	—	254 名
延べ人数	776 名	208 名	152 名	136 名	1,272 名
実人数	351 名	100 名	76 名	76 名	603 名

(3) 研修会、講習会等の開催と職員の派遣

① 事業所担当者向け研修会、市町村担当者向け研修会の開催 【評価：未達成】

【達成水準】 ニーズに合わせた内容充実を図り、自治体等の予算編成の時期に間に合うよう各検診センターで年 2 回以上開催

・市町村及び事業所向け研修会は、以下の通り。

所属	内 容
山形 C	11/22 健康推進担当課長等会議 「内視鏡検査と X 線診断 現状の最先研究（統計含）」（市町担当課長等 12 名参加）
庄内 C	11/6 健康支援セミナー 「HPV 併用検診、C 型肝炎について」（市町・事業所担当等 34 名参加）
最上 C	2/23 市町村担当者会議 「胃がんリスク評価 B C 群の取扱いについて」（市町村担当者等 13 名参加）
米沢 C	6/23 置賜地区健康管理推進連絡協議会 「胃・大腸がん検診の上手な利用法」（事業所担当等 27 名参加） 3/14 健康管理担当者研修会 「高血圧の知識」（事業所担当等 40 名参加）
南陽 C	3/23 市町健康推進担当課長等会議 「高血圧の知識」（市町担当課長等 15 名参加）

② 出前講座等の積極展開 【評価：一部達成】

【達成水準】 全検診センターで年 30 回以上の開催、前年度以上の受講者数

・出前講座の回数及び受講者数は、以下の通り。

所属	実施回数	受講者数	所属	実施回数	受講者数
山形 C	27 回	889 名	米沢 C	5 回	91 名
庄内 C	6 回	209 名	南陽 C	3 回	34 名
最上 C	5 回	115 名	合計	46 回	1,338 名

※（前年度実績：50 回、約 1,380 名参加）

（4）健康情報の発信、検診・精検等の受診勧奨

① ホームページ、SNS等の充実 【評価：一部達成】

【達成水準】 ホームページアクセス数 年/15,000 件・ホームページ更新 15 回以上

フェイスブック閲覧数 1 日/15 件・フェイスブック掲示 20 回以上

- ・HP・SNS・機関紙等広報啓発手段等を検討するため、編集委員を改選し、委員会を年 3 回開催。
- ・ホームページの充実として、タイムリーな健康情報や時間外乳がん検診の案内等を随時掲示。
- ・新たなカテゴリーとして、10 月に開設した山形県がん総合相談支援センターのページを作成。
- ・年間アクセスは 13,300 件、更新回数 23 回。
- ・フェイスブックによる広報として、時間外乳がん検診の案内、健康レシピ紹介（更新 30 回）等を掲示。
- ・ホームページの閲覧総数は前年度比で増加。今後ともフェイスブックと連携しながら、閲覧者の関心が高い情報等を提供していくことが必要。また、モバイル端末からの簡易なアクセス対応の検討が必要。

② 機関紙「しあわせ」内容の充実と配布等の拡大 【評価：一部達成】

【達成水準】 内容充実、配布・設置個所の新規拡大（100 箇所以上）

- ・編集委員会を開催し機関紙「しあわせ」の内容充実を図るとともに、自治体、事業所のほか公民館、公共施設等への設置拡大。
- ・全検診センターで配布及び設置個所の拡大に繋げていくことが必要。

③ ポスター等の作成、その配布拡大 【評価：達成】

【達成水準】 効果ある掲示場所等への設置・配布拡大（新規 300 箇所）

- ・がん征圧月間、結核予防週間のポスターを自治体や学校等に配布。公民館、コミュニティセンター、大型商業施設、ホテルなど掲示場所を拡大し周知啓発。前年度より 300 枚追加発注し、計 1,500 枚を配布。

（5）その他 【評価：一部達成】

◇広報教育媒体の貸出し

健康まつり文化祭、事業所・学校の健康教室等にパネル、DVD等の広報教育媒体の貸出し、24 団体、延べ 10,000 名の方々に利用、ご覧いただき、疾病予防や健康意識の向上等を啓発。

貸出先等が必要とする媒体を調査し、整備することが必要。

◇健康づくり支援

① 山形県結核成人病予防婦人団体連絡協議会

「山形県婦人連盟」、「山形県 J A 女性組織協議会」、「山形県商工会女性部連合会」の 3 団体が集い、結核撲滅・がん征圧を目指し設立。「家族の健康は主婦の手で」を合い言葉に、結核及び各種疾患予防の普及や検診の受診勧奨などを婦人層に広く啓発を図ることを目的に活動を行っており、その諸活動に対して支援。

- ・10月11日山婦協研修会（新庄市）開催、地区ブロック研修会は適宜開催し、延べ283名参加。
- ・8月2日県への表敬訪問を実施。結核の現状や複十字シール運動への取組み、県内の募金状況について説明し、複十字シール運動への協力を依頼。
- ・表敬訪問については、知事または副知事への訪問ができるよう調整が必要。

② 山形まめの会（術後者の会）

検診・医療機関等で疾患を発見され手術を受けられた方の集まりで、相互の情報交換や啓蒙活動を目的に設立。地域行事や研修会などさまざまな場において、「早期発見、早期治療の大切さ」を積極的に訴え、各種疾患による犠牲者を少なくするための諸活動に対して支援。

- ・7月26日に第37回山形まめの会総会（山形市）を開催。
- ・各支部単位の総会並びに情報交換会を、年8回実施、延べ約37名が参加。
- ・山形まめの会の各支部においては役員会や総会実施も困難となり、新規加入もない状況であることから抜本的な検討が必要。全国よろこびの会は、平成30年度の総会を以って解散予定。

◇本部等構成団体との連携

関連機関と連携し、検診機関を取り巻く環境変化等の情報をいち早くキャッチする等、情報共有に対する連携の強化が必要。

① 公益財団法人結核予防会との連携

結核予防会が作成した結核予防週間ポスター1,400部、「健康の輪、複十字誌」及び啓発パンフレット等を市町村・医療機関・検診実施主体等関係機関に配布し周知啓発。

② 公益財団法人日本対がん協会との連携

日本対がん協会が作成したがん征圧月間ポスター1,500部・禁煙ポスター1,500部、「対がん協会報」及び啓発パンフレット等を市町村・医療機関・検診実施主体等関係機関に配布し周知啓発。

- ・11月9日開催の日本対がん協会東北・北海道ブロック会議出席（青森県）

施策 2 調査研究事業の推進

【事業推進の基本的考え方】

- ・検診、検査データの集計、分析等を行い、検診実施主体等に提供するなど有効活用に努めてまいります。
- ・各種調査研究活動を積極的に行い、質の高い検診事業を展開します。

【主な目標】

- ・検診等データ集計分析、情報提供 毎年度
- ・職員の研究発表 毎年度 5 題以上 (H25 5 題)

【評価：一部達成】

(1) 検診・検査データの集計分析と実施主体が必要とするデータの提供

① 事業年報を見やすく、また、経年変化が分かり易い統計データに考察等を盛り込んだ内容に充実

【評価：未達成】

【達成水準】 平成 28 年度版 平成 30 年 2 月発刊

- ・3 回の事業年報編集会議を開催。単年度の検診実績を中心に簡素化し、経年変化が分かり易い構成等の見直しを行ったが、年度内に発刊できず、次年度に遅延。
- ・2 年連続で遅延したことから徹底的なスケジュール管理が必要。

(2) 外部研究機関等への研究事業協力

① 研究事業等への協力、データ提供 【評価：達成】

【達成水準】 大規模臨床研究に対し、検診データ等提供、協力

- ・J-STAR の研究事業に対し 791 件のデータ提供。
- ・膨大な量の検診データ活用がなされていないのが現状。データ提供に係る積極的な P R が必要。

② 外部団体からの協力依頼に対し、検診・検査データを提供 【評価：一部達成】

【達成水準】 山形県、山形県医師会、日本対がん協会、日本乳癌検診学会、日本消化器がん検診学会の 5 団体へのデータ提供。全体で 8 件以上の提供

- ・検診・検査データを以下のとおり提供。

提供先	内容
山形県	がん検診成績や実施状況のデータ提供。山形県生活習慣病検診等管理指導協議会の基礎資料となる。
山形県医師会	各種検診・検査のデータ提供。山形県医師会主催の各種検診中央委員会の基礎資料となる。
日本対がん協会	過去 3 か年のがん検診の受診状況のデータを提供。同会が取り組む、厚労科研費によるがん対策総合推進事業「わが国におけるがん予防と検診の新たなあり方に関する研究」のなかの「現場の実態に基づく検診のあり方に関する研究」の基礎資料となる。
日本乳癌検診学会	乳がん検診実態調査。同学会及び MMG 精度管理中央委員会の全国実態把握の基礎資料となる。
日本消化器がん検診学会	日本消化器がん検診実態調査。「消化器がん検診学会に関する実態調査研究」の一環として実施する学術研究（領域：疫学研究）の基礎資料となる。

(3) 各種学会等外部研究機関等への研究事業協力

① 検診・検査データを活用し、職員が学会等で研究発表 【評価：未達成】

【達成水準】 年間 5 題以上発表

学会名	発表内容・発表者
第 55 回日本消化器がん検診学会 東北地方会(6 月 30 日)	胃がん症例提示及び説明 庄内検診センター 診療放射線技師
第 37 回東北地区集検放射線技術部会 (1 月 26 日)	当機構におけるマンモグラフィの乳房構成について 山形検診センター 診療放射線技師
第 44 回山形県公衆衛生学会 (3 月 8 日)	子宮頸がん検診（細胞診・HPV-DNA 検査併用検診） 山形検診センター 細胞検査士
第 44 回山形県公衆衛生学会 (3 月 8 日)	人間ドックにおける尿中アルブミン測定の有用性 山形検診センター 臨床検査技師

② 全国組織の学会での研究発表 【評価：未着手】

【達成水準】 年間 5 題のうち 1 題以上

- ・平成 29 年度は準備不足により発表なし。
- ・今後、当機構職員が全国組織の学会で発表するなど、質の高い研究発表につなげる必要がある。

施策３ 検診受診率と精密検査受診率の向上

【事業推進の基本的考え方】

- ・行政、企業等関係機関と連携し、検診受診率・精密検査受診率の向上のための取り組みを強化します。
- ・疾病予防の観点から重要視される特定保健指導の内容を充実し、利用者を拡大します。

【主な目標】

- ・未受診者への受診勧奨 毎年度実施（前年度を上回る実施）
- ・精密検査受診率向上 前年度精密検査受診率を上回る。
(H24 胃 81.4%、大腸 71.8%、子宮頸 81.5%、乳 87.1%、
肺 86.6%、腹部超音波 76.7%、前立腺 73.9%)
- ・特定保健指導利用者拡大 H30 年間 2,600 人以上 (H25 2,382 人)

【評価：一部達成】

(1) 県が実施する県民みんなで取り組む「がん対策県民運動」との連携

(新規：山形県からの受託事業)

- ①県が新たに設ける「がん検診推進強化月間」に実施予定の「がん検診受診率向上キャンペーン」に呼応し、県内の関係機関とともにがん検診の受診勧奨運動を全県的に展開 【評価：未達成】

【達成水準】 子宮頸がん検診 360 名、乳がん検診 360 名受診

- ・10 月 15 日（日）を県内一斉実施として、また、10 月 7 日（土）、21 日（土）にも実施。
- ・10 月は県のがん検診推進強化月間（がん検診受診率向上キャンペーン）となっている。次年度実施することになれば、早い時期から各自治体と連携し周知 P R を含めた実施方法等の再検討が必要。
- ・実績は、以下の通り。

所 属	子宮頸がん検診			乳がん検診		
	計画 (名)	実績 (名)	受診率 (%)	計画 (名)	実績 (名)	受診率 (%)
山形 C	80	41	51.3	80	42	52.5
庄内 C	60	56	93.3	60	37	61.7
最上 C	70	30	42.9	70	52	74.3
米沢 C	80	57	71.3	80	49	61.3
南陽 C	70	21	30.0	70	21	30.0
合 計	360	205	56.9	360	201	55.8

(2) 検診申込者への事前連絡と検診未受診者への受診勧奨強化

- ①未受診者対策強化のため、各検診センターで工程表を策定し勧奨実施 【評価：未達成】

【達成水準】 特定健診、人間ドック 100%の受診勧奨

- ②人間ドック受診者への事前連絡の拡大 【評価：未達成】

【達成水準】 検診受託の 28 市町村で実施し、検診申込者の 100%受診

- ・①と②の状況については、以下の通り。

所 属	市町村 特定健診 未検者対策による受診率		市町村 人間ドック 事前電話勧奨による受診率	
	実施自治体数	受診率	実施自治体数	受診率
山形 C	7	24%	4	97%
庄内 C	3	10%	3	90%
最上 C	8	34%	8	87%
米沢 C	自治体で実施		1	95%
南陽 C	自治体で実施		3	97%

③協会けんぽ受診勧奨事業所リスト掲載の全事業所訪問（事業所電話勧奨）【評価：未達成】

【達成水準】 協会けんぽ受診勧奨事業所リスト掲載の全事業所訪問

・状況については、以下の通り。

所 属	協会けんぽ加入事業所		獲得数	獲得率
	勧奨数（団体）	訪問数（団体）		
山形 C	900	1	1	100%
庄内 C	357	0	0	0%
最上 C	234	14	14	100%
米沢 C	290	22	22	100%
南陽 C	85	0	0	0%
合 計	1,866	37	37	100%

(3) 特定保健指導の利用拡大

①協会けんぽと連携し、指導実施、対象者の確保、拡大 【評価：未達成】

【達成水準】 中断率平均 10 ポイント減少

- ・特定保健指導については、2 年目を迎えた上山市の宿泊型の保健指導の増加。また、山形検診センターにおいて、7 月から協会けんぽ施設健診の当日支援を実施したこと、一部市町村で 40 歳未満の当日支援を実施したことより職域対象者の利用拡大に繋がる。
- ・次年度は全検診センターで展開し、当日支援の拡大を図るための方策を組織全体で進めていくことが必要。
- ・実績は以下の通り。

所 属	対象者数（名）		利用者数（名）			実施率（%）		積極的支援 中断率（%）	
	H29	H28	H29	H28	増減	H29	H28	H29	H28
山形 C	2,219	1,910	1,350	1,086	264	60.8	56.9	9.9	16.9
庄内 C	1,116	1,168	530	582	△52	47.5	49.8	16.5	10.3
最上 C	1,038	1,019	665	653	12	64.1	64.1	23.3	29.6
米沢 C	688	685	257	219	38	37.4	32.0	27.6	42.4
南陽 C	817	753	334	276	58	40.9	36.7	6.3	11.0
合 計	5,878	5,535	3,136	2,816	320	53.4	50.9	14.9	20.5

②指導結果の効果等の分析、評価を確実に実施 【評価：達成】

【達成水準】 評価方法を検討し、検診委員会で H28 事業の評価、指導

- ・平成 28 年度事業は現在支援継続中者がいるため、検診委員会では平成 27 年度事業の評価、指導を受け、1 年後の検診結果で改善に至ったか判断できるデータを提供するよう指摘。

(4) 精密検査受診率向上対策の展開

①職域検診における精検受診率の向上 【評価：一部達成】

【達成水準】 各がん検診の精検受診率 90%以上

・夜間電話及びはがきによる勧奨の継続実施の他、県市町村職員共済組合の精検未受診者に、直接電話による受診勧奨を開始するなど、各がん検診精検受診率 90%以上を目標に受診勧奨を実施。

・平成 28 年度のがん検診の精密検査受診率は、一部のがん検診を除き横ばい。精密検査受診率の向上は、検診機関の役割でもあり、健保組合や事業所等と連携し、更に対策を強化することが必要。

・内容は、以下の通り。

(単位：%)

	所属	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
胃がん検診	山形 C	83.9	84.0	84.8	83.9
	庄内 C	78.3	79.4	81.2	79.4
	最上 C	82.7	82.7	83.3	85.6
	米沢 C	78.6	74.2	75.2	76.8
	南陽 C	82.8	81.2	81.0	81.2
	全 体	81.6	81.2	81.9	81.8
大腸がん検診	山形 C	74.3	75.5	77.5	79.0
	庄内 C	72.4	69.4	71.8	73.9
	最上 C	70.6	72.2	76.4	79.4
	米沢 C	70.7	68.5	67.4	67.9
	南陽 C	78.2	75.3	74.2	75.1
	全 体	73.6	72.7	74.3	76.0
子宮頸がん検診	山形 C	78.3	74.8	74.2	85.2
	庄内 C	84.7	79.8	85.1	77.4
	最上 C	87.2	90.7	91.8	84.3
	米沢 C	82.4	72.9	86.3	79.1
	南陽 C	87.5	87.0	76.2	74.1
	全 体	82.9	80.1	81.7	80.5
乳がん検診	山形 C	88.7	87.5	90.9	92.5
	庄内 C	92.0	87.2	90.1	92.5
	最上 C	90.4	89.6	93.5	94.1
	米沢 C	88.5	87.6	90.0	88.1
	南陽 C	89.9	90.0	93.0	93.1
	全 体	89.8	88.5	91.6	92.3
肺がん検診	山形 C	88.5	87.5	87.4	85.1
	庄内 C	85.7	83.7	84.6	82.4
	最上 C	86.4	82.4	89.8	89.6
	米沢 C	91.5	84.4	90.4	82.3
	南陽 C	90.4	91.2	87.2	87.2
	全 体	87.7	86.0	87.1	85.2

平成 29 年 12 月末現在

施策 4 満足度と質の高い検診サービス等の提供

【事業推進の基本的考え方】

- ・受診者ニーズを踏まえた質の高い多様な検診サービスメニューの充実、接遇の向上、検診結果通知の迅速化等、検診環境の整備を進めます。
- ・高度の検診機能を担っている病院との役割分担を検討し、検診機関としての今後の検診機能の方向性を整理します。
- ・自治体、事業所等の健康支援を強化し、県民の健康づくりを支援します。

【主な目標】

- | | | |
|------------------------|-------|-----------|
| ・オプション項目推奨マニュアル作成 | H 26 | |
| ・新たな検診メニューの検討・開発 | 順次実施 | |
| ・苦情等を生かす仕組みづくり | H 26 | |
| ・接遇指導者の養成と指導 | H 26～ | |
| ・検診時の託児対応 | H 29 | |
| ・病院との役割分担の整理 | H 27 | |
| ・自治体、事業所等への健康づくり施策への支援 | H 26～ | 年間 10 回以上 |

【評価：一部達成】

(1) がん総合相談支援事業（新規：山形県からの受託事業）

①がん総合相談支援事業の受託 【評価：未達成】

【達成水準】 電話相談及び面談相談 100 名以上

- ・医療や就労等の様々な悩みについて、気軽に相談できる「山形県総合相談支援センター」を山形市（山形検診センター）、同支所を酒田市（庄内検診センター）に設置し、病院では相談しにくい問題を抱えるがん患者や家族などの不安軽減を図るため、専門の医師、看護師等による面談、電話等による無料の相談等を県内全域対象に平成 29 年 10 月 1 日から実施。他の検診センターでは、案内機能を担った。相談件数は 77 件。
- ・各種イベント等において出張相談、啓発活動を実施。
- ・がん患者、その家族や広く一般の県民を対象に、ピアサポーター養成講座を開催し、ピアサポーターを育成するとともに、ピアサポートセミナー、交流会等のピアサポート活動の支援を実施。
- ・開所当初のメディアやイベントによる周知のほか、病院・医院、調剤薬局等からポスター・チラシの掲示、市町村の広報誌への掲載に協力を得たが、次年度は更なる周知 P R の積極的な展開が必要。

②ピアサポート活動の推進 【評価：達成】

【達成水準】 ピアサポーターの養成講座（2 回開催 参加者 20 名）

ピアサポーター交流会 （1 回開催 参加者 20 名）

ピアサポートセミナー （1 回開催 参加者 50 名）

- ・ピアサポート活動の状況は以下の通り。

内容	開催月日	参加人数
ピアサポートセミナー	10 月 26 日	60 名
ピアサポーター養成講座	11 月 26 日、1 月 21 日	17 名、16 名
ピアサポーター交流会	3 月 11 日	22 名

(2) 受診者ニーズに対応した検診サービスメニューの充実

(関連：施策 6 - (3) 新しい検査技術の導入)

① 受診者アンケート調査の実施 【評価：一部達成】

【達成水準】 受診者アンケートを上期（7 月）、下期（10 月）2 回実施

受診者満足度 90%以上達成

・全検診センターで施設検診受診者を対象に受診者アンケートを実施し、上期（9 月）は 5,869 件、下期（1 月）は 4,217 件の計 10,086 件の回答を得、全体の評価の満足度は 82.6%。

・「受診者アンケート」の回収率 80%。不満足と回答が多かった所要時間及び接遇に重点を置き、ポイントを整理し早急な改善が必要。

② HPV 併用検診の拡大 【評価：達成】

【達成水準】 平成 29 年度 1,850 名・平成 30 年度 5 団体以上の増加

・3 実施主体から新規に受託し、実績は以下の通り。

() 内は実施主体数

所属	計画 (名)	実績 (名)	差異	所属	計画 (名)	実績 (名)	差異
山形 C	500	(3) 679	179	米沢 C	0	(1) 7	7
庄内 C	0	(2) 17	17	南陽 C	0	(3) 92	92
最上 C	1,234	(8) 1,177	△57	合計	1,734	(17) 1,972	238

③ 乳エコー検診 【評価：達成】

【達成水準】 目標 250 名

・人間ドックでオプション項目として新規に実施するとともに、庄内検診センターでは 12 月から実施。

・乳エコー検診については、今後全検診センターでの事業の拡大方向を取りまとめる検討が必要。

・実績は以下の通り。

() 内は実施主体数

山形 C	受診者数 (名)	対象者 (名)	受診率 (%)	庄内 C	受診者数 (名)	対象者 (名)	受診率 (%)
一般住民	(7) 251	934	26.9	一般住民	() 0	—	—
職域職員	() 0	—	—	職域職員	(4) 4	—	—
時間外乳がん検診	40	—	—	時間外乳がん検診	—	—	—
若者のがん予防事業	218	—	—	若者のがん予防事業	36	—	—
合 計	(7) 509	934	—	合 計	(4) 40	—	—

(3) スムーズな検診と検診所要時間の短縮

① 検診待ち時間の短縮 【評価：未達成】

【達成水準】 繁忙期 2 時間以内、閑散期 1 時間 30 分以内

・施設検診受診者を対象に受診者アンケートを実施し、上期（9 月）は 5,869 件、下期（1 月）は 4,217

件の計 10,086 件の回答を得た。評価の満足度は、55.2%。

(4) 接遇の向上

①指導者養成、接遇コンテストや標語ポスター掲示、接遇チェック等による職員意識の向上

【評価：未達成】

【達成水準】 接遇満足日本一をめざし、接遇満足度 100%。(アンケート調査結果)

- ・施設検診受診者を対象に受診者アンケートを実施し、上期(9月)は5,869件、下期(1月)は4,217件の計 10,086 件の回答を得た。評価の満足度は 75.6%。
- ・各検診センターで毎月接遇目標を設定し、朝のミーティング等で接遇目標確認、職員の接遇意識を共有。
- ・接遇標語コンテストを実施し、4 点の優秀作品をポスターに掲示。

(5) 検診結果通知の迅速化

①正確で迅速な検診結果通知 【評価：未達成】

【達成水準】 繁忙期 3 週間以内、閑散期 2 週間以内

- ・導入した検査システムのトラブル及びこれに伴う事務処理遅延により、4 月以降の 3 週間以内の結果通知に支障を来した。
- ・全検診センターでの 3 週間以内の結果通知が確保できず。遅延の原因分析、対策を実施するとともに定期的な所要日数の調査、点検が必要。

所 属	結果郵送状況(繁忙期 4~11 月) 3 週間以内		結果郵送状況(閑散期 12~3 月) 2 週間以内	
山形 C	平均 27 日	3W 実施率 22%	平均 18 日	2W 実施率 52%
庄内 C	平均 40 日	3W 実施率 3%	平均 26 日	2W 実施率 0%
最上 C	平均 25 日	3W 実施率 30%	平均 17 日	2W 実施率 50%
米沢 C	平均 20 日	3W 実施率 90%	平均 13 日	2W 実施率 100%
南陽 C	平均 25 日	3W 実施率 50%	平均 18 日	2W 実施率 70%

(6) 女性に優しい検診環境の整備

①県事業(がん検診受診率向上キャンペーン)に呼応し、休日の子宮頸がん、乳がん検診を拡大

施策 3-(1) 再掲

②山形検診センターにおいての時間外乳がん検診を通年実施 【評価：達成】

【達成水準】 月 1 回実施 1 回あたり 10 名 延べ 220 名

- ・6 月から 3 月までの時間外乳がん検診時に計 10 回の子宮頸がん検診を追加するとともに、市町村の未検者検診として実施。
- ・実績は以下の通り。

年度	稼働日数	乳がん検診	乳エコー	子宮頸がん検診	延べ人数
平成 29 年度	10 日間実施	135 名	40 名	92 名	267 名
平成 28 年度	15 日間実施	112 名	15 名	0 名	127 名

③検診時の託児サービスを事業所・自治体と調整・検討 【評価：未達成】

【達成水準】 30 年度からの方向性の決定

- ・具体的な進捗はなかったが、山形検診センターでの休日の子宮頸がん、乳がん検診実施日に託児スペースを準備したが利用者は皆無。

- ・託児付検診については、他の検診機関等を参考に、子育て世代の受診しやすい環境の提供が必要。

(7) 病院との役割分担の整理

① 高度医療を担う病院との役割分担、精密検査実施機関との連携強化における課題を整理し、新しい検査技術の導入に向けた検討、準備を行う 【評価：未達成】

【達成水準】 C T検査導入の課題整理、C T導入整備計画の策定

- ・9月にC T検査導入検討委員会を設置し、委員会を開催。導入目的、採算性等を検討したが、導入適否の方向性の課題整理が進まず、整備計画の策定案作成は、次年度に繰り越し。

②-1 腫瘍マーカー 【評価：未着手】

【達成水準】 腫瘍マーカー検査についての課題整理

- ・腫瘍マーカー検査についての課題整理は、次年度に繰り越し。

②-2 胃内視鏡検査導入に向けた検討 【評価：未着手】

【達成水準】 胃内視鏡検査の情報収集と課題整理

- ・胃内視鏡検査導入に向けた検討で、他機関の情報収集は行ったが、課題整理は次年度に繰り越し。

(8) 自治体、事業所への健康づくり施策への支援

① 出前講座、事後指導（禁煙指導等含む）の積極展開、自治体・事業所が行う健康支援事業への協力

【評価：達成】

【達成水準】 健康支援事業への協力回数 10 回以上、有所見率・要精検率の高い事業所を 5 社選定

- ・自治体、事業所等からの要請を受け、検診データの提供、検診後の指導を実施。
- ・健康づくり施策への支援状況は、以下の通り。

所 属	事業所等への支援 (単位：回)	事後指導 (単位：名)
山形 C	8	651
庄内 C	13	209
最上 C	11	180
米沢 C	5	114
南陽 C	4	274
合計	41	1,428

施策 5 検診の精度管理と事業評価

【事業推進の基本的考え方】

- ・検診委員会の評価指導、専門職の技術のレベルアップ、症例検討委員会等の継続的な開催に向けた環境整備を行い、検診の精度向上に努めます。
- ・医師会と連携した読影医師の確保を行うとともに、高速ネットワーク通信を活用した読影体制の構築を行い、読影環境の整備に努めます。
- ・人為的なミス、事故を防止するための取り組みをさらに強化します。

【主な目標】

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ・外部機関による精度管理評価 | 毎年度 最上位評価獲得 |
| ・高速ネットワーク通信を活用した読影体制構築 | H26 将来構想策定、H29 実施 |
| ・事故防止対策の見直し | H27 見直し、対策決定 |
| ・ミス、トラブルの減少 | H30 H25 件数の半減 (H25 73 件) |

【評価：一部達成】

(1) 精度管理の維持・向上と事業評価

① 6 つの検診委員会、県生活習慣病検診等管理指導協議会における精度評価等を実施 【評価：達成】

【達成水準】 課題に対しての実践と成果の取りまとめ

- ・臨床の医師等で構成する 6 つの検診委員会において、プロセス指標値（要精検率・精検受診率・陽性反応の集中度・がん発見率）に基づいて精度管理状況分析及び事業評価のためのチェックリスト（検診機関用）に基づいた点検結果を報告し、改善に向けてアドバイス等を得た。一方で、事前に検診委員会全体の審議内容について、組織的に整理決定するとともに、委員会開催の時期見直しが必要。
- ・各検（健）診委員会の指導及び課題等の事項は、以下の通り。

委員会名	内 容
消化器検診委員会 (H30.2.6)	1 プロセス指標に基づく評価及び事業評価のためのチェックリスト ・最上・南陽検診センターのがん発見率が低い。専門技師の養成と読影医の構成、双方の検討が必要。 ・適合状況と今後の方針を報告。改善が困難な項目（読影医師の要件）については、継続検討。 2 精度管理 ・便潜血反応強陽性者の至急受診勧奨条件については、今年度の山形県生活習慣病検診等管理指導協議会消化器部会での協議結果を受け、自治体等と協議の上反映させる。 ・事業所における受診者数別（50 名目途）の精検受診の状況を次年度資料として示し、職域の精密検査受診率の向上対策を検討する。 3 その他 ・平成 30 年度よりすべての受診者について、胃がん検診で慢性胃炎と判定された場合は、胃炎への対応に関する説明文書を追加することで了承。

呼吸器検診 委員会 (H30.1.31)	1 プロセス指標に基づく評価及び事業評価のためのチェックリスト ・各検診センターにおける要精検率、陽性反応的中度にバラツキが見られる。特に南陽検診センターの要精検率が低い。 ・読影において、肺がん学会では、少しでも疑いがあれば要精検にするように指導している。 ・要精検率、がん発見率をプロセス指標に近づけるのは難しいと考えられるが、今後の推移に基づき検討していく。 2 精度管理について ・各地区医師会における、症例検討会の状況を提示。 ・症例検討会は、県医師会、地区医師会ごとに開催されるので参加を各医師に促す。 3 その他 ・人間ドック、一般検査の判定基準における呼吸器判定（C）の取扱いについて、他検診機関の判定（C）の取扱いを提示。所見はあるが精検不要の判定区分異常なしを要観察に変更することで了解を得た。 ・呼吸器検査導入について、たばこ対策とCOPDの早期発見を目的とし、これまでの肺機能検査の結果に肺年齢を加味させた結果で判定する。有所見率試算において、1%から16%に上昇するとされているが、日本呼吸器学会が定めた内容に沿っていることから導入の了解を得た。
子宮がん検診 委員会 (H30.1.23)	1 プロセス指標に基づく評価及び事業評価のためのチェックリスト ・精検受診率が年次的に低下傾向であること、地域差があること、若年者の精検受診率が低いことなどをご指摘いただき、指標の許容値に満たないところの改善。 ・精検受診率の向上を目指し、各市町村と綿密に連携し方策を検討する。 2 精度管理 ・若年者の受診率、特に初回受診率が横ばいであるので、向上に繋がる対策をする。 ・委員の先生方からの提案で、標本の再作製率の減少のため液状検体の採取器具を統一していくことを検討する。 ・HPV併用検診の成績を評価いただき、今後も拡大していくようご指導いただいた。 ・HPV併用検診の1年後検診受診率が低いとのご指摘をいただき、対策を検討する。 3 その他 ・精検医療機関リストの作成について、細胞診で要精検者に対してのみ、結果に添付することです承。
乳がん検診 委員会 (H30.2.2)	1 プロセス指標に基づく評価及び事業評価のためのチェックリスト ・プロセス指標の評価は、一般住民のみならず、受診者の3分の1を占める職域についても重要である。 ・最上検診センターの陽性反応的中度、がん発見率が経年的に低いなど、傾向や問題点を分析するために、各検診センターの詳細な資料作成が必要である。 ・がん発見率を上げる策として、がん疑いについての追跡調査が必要であり、県では追跡結果の詳細を把握しており、フィードバックが望まれるが、個人情報保護のため厳しい状況。精度管理として提供いただけるか情報収集を行うこと。 2 その他 ・乳房超音波読影医師の要件として、MMG読影認定医師かつ、乳房超音波講習会における評価取得医師（AまたはB評価）とする。対応が困難な場合は、乳腺の診察・治療に携わり、日常的に超音波を使用している医師も可とする。 ・乳房超音波検査結果報告書への所見名記載については、見解が分かれたため、他検診機関の情報をもとに再検討する。 ・超音波については、所見名に疑いの記載は適切でないとの指摘があり、疑いを削除することで検討する。

超音波検査 委員会 (H29.12.21)	1 過去 5 年の検診実施状況評価 ・過去 5 年の要精検率を比較すると年々増加している検診センターがあり、初回受診者の増加や過去の精検受診情報の把握がキーポイントとされた。要精検率に影響する精検受診情報を判定医師と共有する。 ・超音波画像所見に対するカテゴリー区分を周知する。特にカテゴリー 3' 4' は要観察となること。描出不能な場合のカテゴリーの統一が必要であり、判定医へも知らせる必要がある。 2 精度管理について ・各検診センターで発見された症例を提示し検討結果を報告。また、各検診センターの判定医師との打ち合わせに本資料を活用いただくこととした。 3 その他 ・専門技師の養成について、平成 35 年までの養成計画を提示し、認定取得についてご指導いただくよう依頼した。 ・カテゴリー分類及び統一が必要な事項について、各検診センター及び判定医あてに通知し、周知すること。
循環器等健診・ 人間ドック委員会 (H30.2.1)	1 過去 3 年の検診実施状況評価 ・実施状況の有所見率について、判定区分別に分析し報告。評価方法について指摘なし。 ・平成 27 年度特定保健指導実施者の結果状況について報告し、評価方法は測定データと検査値の改善状況を加味すること、男女別に区分することなどを検討に加えるようご指導いただいた。 2 第 3 期特定健診・特定保健指導の実施 ・改正点及び機構の対応について報告したところ、随時血糖 3.5 時間未満の取り扱いについて混乱を招かないため、機構独自の注釈をつけるようご意見があり、専門医の委員のご指導により食後血糖（食直後 3.5 時間未満）と表記することとなった。 3 その他 ・骨粗しょう症検診について、判定区分指導に基づいた結果通知とすることで了承を得た。 ・検体検査の基準値変更については、具体案の設定根拠等を提示し、山形県健康診査実施要領＞委託先基準＞人間ドック学会基準＞機構の従来基準に合わせた基準値変更について了承を得た。 ・血圧測定方法について、血圧測定手順・血圧測定値の取り方の統一方法を提案し了承を得る。

②精度管理と事業評価 【評価：一部達成】

【達成水準】 がん検診事業評価の指標を目標

- ・厚生労働省が示す事業評価のためのチェックリスト（検診機関用）に基づいた点検、検討を行った。
- ・平成 28 年度の機構のプロセス指標と厚生労働省が定める「がん検診事業評価指標」に基づく許容値及び目標値との比較成績は、以下の通り。

平成 28 年度	胃がん検診	大腸がん検診	肺がん検診	子宮頸がん検診	乳がん検診
精検受診率	81.8%	76.0%	85.2%	80.5%	92.3%
要精検率	7.6%	5.7%	4.3%	0.7%	5.7%
がん発見率	0.09%	0.13%	0.06%	0.06%	0.20%
陽性反応適中率	1.18%	2.35%	1.28%	8.51%	3.48%

※グレー部分は、許容値の範囲外のもの。平成 29 年度数値は、平成 30 年 6 月末確定予定。

③外部機関による精度管理評価 【評価：一部達成】

【達成水準】 最上位評価獲得

・外部機関による精度管理評価については、日本医師会、日本臨床検査精度管理調査は、おおむね良好な評価を得たが、胸部評価はバラツキが見られた。最上位評価を目指した取り組みの強化が必要。

所 属	日臨技	日本医師会	胸部評価
山形 C	100	99.7	B
庄内 C	100	96.7	B
最上 C	100	99.7	A
米沢 C	100	100	C 上
南陽 C	100	100	C 上

④外部機関による評価の検討 【評価：未着手】

【達成水準】 外部評価導入の方針決定

- ・人間ドック学会施設機能評価に関する情報収集だけで具体的な進捗なし。
- ・次年度は課題・問題点等を整理し、方向性の取りまとめが必要。

⑤専門技術職の技術向上 【評価：達成】

【達成水準】 対がん協会研修、症例検討会、学会等への計画的な派遣

- ・学会、研修会等に職員を派遣し、専門技術職のスキルアップを計画的に実施。

専門技術職種	派遣回数（回）	派遣人数（延べ：名）
医師関係	8	9
放射線関係	9	25
看護師関係	10	16
保健師関係	8	8
管理栄養士関係	4	5
臨床検査技師関係	9	15
細胞診関係	8	21

(2) 読影体制強化

①読影医師の確保 【評価：達成】

【達成水準】 適切な医師数を確保

- ・読影数に対して、適正な読影医師数を確保。
- ・厚生労働省が示す、事業評価のためのチェックリスト（検診機関用）に基づいた点検・検討を実施。

②機構独自の症例検討会を各検診センターで開催 【評価：一部達成】

【達成水準】 胃部 8 回、呼吸器 7 回、マンモ 6 回、細胞診 6 回

- ・読影医師の確保に努めるとともに読影医師のレベルの維持・向上のため症例検討会を実施。
- ・地区医師会での症例検討会は、機構医師が提供する症例等を参考とし、継続的な実施が必要。
- ・症例検討会の開催回数は、以下の通り。

（単位：回）

所 属	胃部	呼吸器	マンモグラフィ	細胞診
山形 C	2	2	1	4
庄内 C	1		1	
最上 C	2	1	1	
米沢 C	3	1	1	
南陽 C	1		2	
合 計	9	4	6	4

③高速ネットワークを活用したマンモ遠隔読影の充実【評価：達成】

【達成水準】マンモ遠隔読影 4～12月 月2回

・山形・最上検診センター間で平成29年4月から平成30年3月までに19回、1,859名の読影を実施。

(3) リスクマネジメントの推進

①平成28年度整備体制の実行【評価：未達成】

【達成水準】 レベル1… H28：384件⇒ H29：190件

レベル2以上 H28：119件⇒ H29：60件

・リスクマネジメント会議の開催は2回（4月、8月）で、本部会議が停滞。

・レベル1、レベル2とも前年度報告件数からの半減はできなかった。

所 属	レベル1	レベル2 以上	合計	H28	比較
山形C	69	35	104	199	△95
庄内C	29	9	38	53	△15
最上C	37	7	44	85	△41
米沢C	37	13	50	71	△21
南陽C	26	11	37	94	△57
合 計	198	75	273	502	△229

②職員への周知・伝達の実態調査【評価：未着手】

【達成水準】 職員に対するリスクマネジメントの意識調査アンケート（徹底されている90%以上）

・職員に対するリスクマネジメントの意識調査アンケート調査は未実施。

・リスクマネジメント会議及び同支部会議の定期的な開催と打ち出された改善策が、検診現場にしっかりと定着するような点検が必要。

施策 6 ICT の積極的な活用と新しい検査技術の導入

【事業推進の基本的考え方】

- ・ICT の積極的な活用を行い、地域医療との連携と事務の効率化を図るとともにニーズを踏まえた新しい検査技術の導入を進めます。
- ・個人情報を取り扱う事業者として、内部研修、内部監査を強化し厳格な保護管理を行います。

【主な目標】

- | | |
|-----------------|----------------------------|
| ・医療情報ネットワークへの参加 | H26 方針決定 |
| ・基幹システムの更新 | H26 開発計画策定、H26～H28 プログラム修正 |
| ・H P V 併用検診の導入 | H26 方針・方法決定、H29 実施 |

【評価：一部達成】

(1) 医療情報ネットワークへの参加

① 医療ネットワーク（ちようかいネット）の対象拡大 【評価：一部達成】

【達成水準】 心電図検査データの登録機能を追加し、8 月稼働

- ・参加して 2 年目となるちようかいネットは、12 月から心電図データを追加し、公開に同意した受診者は 85 名。（平成 28 年度 113 名）
- ・今後の利用者の拡大に向けて、取り組みの強化が必要。

(2) 基幹システムの更新

① 新たな基幹システムへの更新 【評価：達成】

【達成水準】 基本設計、整備計画の策定

- ・平成 29 年 8 月、プロポーザル方式にて委託業者を決定し、ソフトウェア契約を締結。整備計画に基づき、基本設計は完了。
- ・10 月から職員とシステム会社で構成するワーキンググループで課題・問題点を整理し、要件定義まで完了。
- ・今後は、作業の進捗管理及び予算執行を計画的に進めることが必要。
- ・落札業者：株式会社 Y C C 情報システム
- ・予算規模：300,000,000 円
- ・落札価格：229,500,000 円（うち 設計費用 22,600,000 円）

(3) 新しい検査技術の導入

① 骨粗しょう症検診 【評価：達成】

【達成水準】 実施のための検討、準備

- ・課題等を整理、循環器等健診・人間ドック委員会に導入を提案し、平成 30 年度から実施。

② COPD 検査 【評価：達成】

【達成水準】 実施のための検討、準備

- ・課題等を整理、呼吸器検診委員会に導入を提案し、平成 30 年度から実施。

③ 人間ドックにコース別設定 【評価：未着手】

【達成水準】 コース拡大のための検討

・新しい検査技術の導入に向けた情報収集、検討ができず次年度に繰り越し。

④ 腫瘍マーカー導入に向けた検討

・施策 4-（7） 再掲

⑤ 胃内視鏡検査導入に向けた検討

・施策 4-（7） 再掲

⑥ CT検査

・施策 4-（7） 再掲

⑦ 新しい検査技術の導入に向けた情報収集、検討 【評価：未達成】

【達成水準】 検査項目として可能性のある項目を抽出し検討する

・情報収集を行い、次の事項について検討したが、具体的な進展まで至らず。

1) タブレット端末を使用した問診システム

予算及び機種選定と構築（基幹システムの更新が前提条件となる機種あり）に課題。

2) 眼圧測定

予算及び機種選定、基準値設定とシステム化が課題。

3) 血圧脈波

他検診機関等の動向を調査中。

(4) 各種の情報公開の推進、個人情報保護に係るセキュリティの強化

① Pマーク取得の検討 【評価：未達成】

【達成水準】 導入計画の策定

・Pマーク取得検討に向け、プライバシーマークセミナー2017(制度概要編)を受講したものの、課題整理等が不十分。方向性の決定に至らず。

② 内部監査による実行確認、管理ツールによる情報漏えい監視強化 【評価：未達成】

【達成水準】 監査項目中該当部の結果「○」90%以上

・無許可USB使用ゼロ宣言通知、持ち込み禁止通知等を再通知。

・個人情報保護に係る内部監査は、4月から発生した血液外注先の相次ぐトラブル等の対応に追われ、一部の検診センターの監査に留まる。全検診センターでの監査が必要。

施策 7 計画的な検診機器等の整備更新

【事業推進の基本的考え方】

- ・検診精度の向上等を図るため、X線機器のデジタル化を計画的に進めます。
- ・ニーズを踏まえた質の高い検診サービスを提供するため、検診機器等の整備更新を計画的に進めます。
- ・検診車の効率的な配置・利用について検討します。

【主な目標】

- ・X線機器のデジタル化 H28 整備完了
- ・新たな固定資産整備計画の策定 H28
- ・検診車の効果的な利用を図るための配置、台数等の検討 H26～27

【評価：一部達成】

(1) X線機器の完全デジタル化への移行

① アナログ車からDR検診車への更新 【評価：達成】

【達成水準】 予算内の作成と呼吸器DR検診車の検討、呼吸器DR検診車の年度内納車（3月）

- ・従来の車両規格を見直しマイクロバス仕様に変更することで、コンパクトな設計ながら機能性の確保と、整備費用の抑制を実現。
- ・予算計上額以内での整備 予算額 33,000,000 円、入札額 27,450,000 円。
- ・平成 30 年 2 月 20 日納車。

(2) 固定資産等の計画的な取得、更新

① 固定資産等の長期使用 【評価：達成】

【達成水準】 整備要望期限内の整備、予算計上額以内の整備

- ・平成 29 年度の整備計画に基づき機種及び業者指名選定委員会で厳正に審議し、公平かつ適正な取得に努め、併せて、整備費用の抑制を実現。
- ・予算額 91,956,000 円に対し、入札額 67,335,306 円で達成。

(3) 検診車の効率的な配車検討

① 検診車の効率的な配置 【評価：未達成】

【達成水準】 動向調査を行い、車両配置の見直し検討

- ・10 月、市町村及び健康保険組合等の大手実施主体に胃がん検診の検査項目に係る意向等について聞き取り調査を実施。その後は車両配置の管理集中化等の方向性を取りまとめることができず、次年度へ繰越し。
- ・平成 29 年度の車両配置一覧については、以下の通り。

（単位：台）

所 属	胃がん 検診車	胃部・呼吸器 DR 併用検診車	呼吸器 検診車	呼吸器 DR 検診車	子宮頸がん 検診車	循環器 健診車	循環器・超音波 併用検診車	計
山形 C	2	3	1	1	1		1	9
庄内 C		2				1	1	4
最上 C		1						1
米沢 C								0
南陽 C		2						2
合 計	2	8	1	1	1	1	2	16

※平成 30 年 3 月 31 日現在

施策 8 安定的な収入確保対策

【事業推進の基本的考え方】

- ・様々な環境変化に柔軟に対応できる自立した法人として、持続的・安定的な事業運営を推進するため、あらゆる対策を講じます。
- ・コスト意識の組織内浸透と経費節減に対する総合的な取り組みを強化し、収支均衡を確保します。

【主な目標】

- ・検診事業収入（H30）314,100 万円（平成 25 年度 298,047 万円 伸び率 5.4%）
 - 山形検診センター 107,300 万円（平成 25 年度 101,712 万円 伸び率 5.5%）
 - 庄内検診センター 79,400 万円（平成 25 年度 77,204 万円 伸び率 2.8%）
 - 最上検診センター 46,100 万円（平成 25 年度 42,460 万円 伸び率 8.6%）
 - 米沢検診センター 36,200 万円（平成 25 年度 34,734 万円 伸び率 4.2%）
 - 南陽検診センター 45,100 万円（平成 25 年度 41,935 万円 伸び率 7.5%）
- ・各検診センター課題整理、個別対策決定 H26～H27
- ・新たな受診者の拡大策 H26～ 取りまとめ、実施
- ・受診者のリピート率 H30 5 年間増加（H25 79.3%）
- ・渉外戦略策定 H27
- ・新規事業所等訪問件数 H30 100 社
- ・検診料金在り方検討 H27 新料金(案) 決定
- ・競争入札への対応 H28 方針決定
- ・維持会員募金 H30 400 万円以上
- ・複十字シール募金 H30 80 万円以上

【評価：未達成】

(1) 受診者数の数値目標の設定等

① 受診者数の増加対策と数値目標を各検診センターで設定 【評価：未達成】

【達成水準】 平成 29 年度目標 3,195,122 千円（受託料 42,343 千円含まず）

- ・各検診センターが予算額を達成すべく、地域の特性を生かした対策を講じて取り組む。結果として庄内、南陽の 2 検診センターは前年度実績を上回ったが、2 年連続予算額を下回る結果となり、全体で予算対比 39,014 千円の減。

- ・各検診センターの各種検診実績人員は、別表の通り。目標額との比較は以下の通り。

単位：千円（受託料含まず）

	平成 28 年度決算	平成 29 年度予算	今年度目標額	平成 29 年度決算	目標との比較
山形 C	1,039,709	1,045,931	1,056,488	1,028,078	△28,410
庄内 C	797,661	810,437	815,457	798,542	△16,915
最上 C	447,252	446,591	451,730	442,318	△9,412
米沢 C	356,865	359,565	363,646	353,951	△9,695
南陽 C	488,772	501,877	507,801	502,498	△5,303
合計	3,130,259	3,164,401	3,195,122	3,125,387	△69,735

(2) 利用者数、受診者数の増加対策の推進

① がん検診減少対策の策定 【評価：未達成】

【達成水準】 9 月～11 月 アンケート調査 7,700 名の実施

- ・10月～12月にがん検診実施状況調査アンケートを約4,500名に実施したが、減少の要因分析や対策の策定までに至らず。
- ・がん検診減少対策の策定が停滞。減少の要因を分析し、早期の計画策定が必要。

② WEB予約システムを全検診センターに拡大 【評価：未着手】

【達成水準】 全検診センターで個人及び事業所の申し込みに対応

- ・平成31年度から導入予定の基幹システム構築を見据えた対応の検討が必要。

(3) 積極的な渉外活動の推進

① 山形検診センターに渉外課を新設し、体制を強化 【評価：一部達成】

【達成水準】 下表 達成水準のとおり

- ・山形検診センターに渉外課を設置し、渉外活動を全検診センターで取り組み。新規獲得のための渉外技術の習得、渉外人材の育成、具体的な手法等について渉外担当者を対象に研修会を実施。
- ・各検診センターで達成水準を定め、訪問活動を実施し、実績については、以下の通り。

所 属	新規訪問		既存訪問		新規獲得	
	達成水準	実績	達成水準	実績	達成水準	実績
山形C	200件	162件	300件	323件	5件	1件
庄内C	20件	0件	50件	41件	5件	0件
最上C	20件	20件	40件	50件	2件	3件
米沢C	10件	17件	20件	40件	1件	1件
南陽C	40件	25件	70件	41件	1件	0件

(4) 競争性を確保した公益法人として適切な検診料金の在り方と競争入札に対する方針の決定

① 検診料金の見直し 【評価：一部達成】

【達成水準】 原価計算方法の確立と検診料金の方針決定

- ・原価計算又は保険点数を基にした料金算定は終了し、当機構の料金の現状についての取りまとめが完了。
- ・今後は、考え方の整理が必要。

② 渉外活動時の値引きの基準や競争入札時の対応方法方針決定 【評価：一部達成】

【達成水準】 競争入札の方針決定

- ・渉外活動の値引きや競争入札時の対応方法については、内部での取りまとめが完了。

(5) 維持会、複十字シール募金等拡大

① 維持会募金 【評価：未達成】

【達成水準】 維持会募金額 388万円以上

- ・維持会員加入勧奨チラシを作成し、新規取引業者等に勧奨、新規募金5件。(個人:1、法人:4)
- ・新規取引業者等への寄付を行ったが、全検診センターでの足並みが揃わず募金額は、3,480,962円。

② 複十字シール募金 【評価：未達成】

【達成水準】 複十字シール募金額 80万円以上

- ・山婦協3団体に募金箱を設置、研修会及び健康まつり等イベントで協力依頼し、募金額766,188円。
- ・複十字シールを職員から購入して貰い、名刺へ塗付しPR。(職員提案制度)
- ・山婦協役員等による、複十字シール運動の趣旨への理解と募金へのご協力をお願いに山形県を表敬訪問。本庁や合同庁舎内に募金箱の設置等の協力を得て、募金額のうち約270,000円の協力をいただいた。

(参考資料)

各 種 検 診 ・ 受 託

検診・検査項目			平成29年度		増減	山形検診センター		
			計画	実績		計画	実績	
特 定 健 康 診 査			55,040	54,416	△ 624	18,690	18,269	
特 定 保 健 指 導			3,005	3,155	150	1,090	1,369	
生 活 機 能 評 価			0	0	0			
胃 がん 検 診			48,270	46,534	△ 1,736	18,700	17,610	
		(単+ド+全)	100,890	97,767	△ 3,123	33,000	31,155	
大 腸 がん 検 診			67,185	66,330	△ 855	24,660	23,839	
		(単+ド+全)	131,050	130,420	△ 630	42,630	41,464	
子宮頸がん検診		細胞診	18,595	18,289	△ 306	5,180	4,830	
		(単+ド+全)	36,895	35,652	△ 1,243	11,740	10,934	
		HPV併用	649	778	129	220	266	
		(単+ド+全)	1,734	1,972	238	500	679	
乳がん検診		マンモ単	6,415	9,832	3,417	1,590	2,413	
		(単+ド+全)	19,570	22,942	3,372	6,770	7,607	
		併 用	11,605	7,944	△ 3,661	2,840	1,862	
		(単+ド)	17,220	12,694	△ 4,526	4,890	3,644	
		視・触診	285	111	△ 174		7	
		(単+ド)	285	112	△ 173		7	
		乳房超音波	210	549	339	210	509	
		個 別 (X線)	50	33	△ 17			
呼 吸 器 検 診	肺 がん 検 診	X 線	56,055	55,663	△ 392	19,860	19,472	
		(単+ド)	90,990	89,301	△ 1,689	32,200	31,324	
		喀 痰	2,335	2,235	△ 100	1,120	1,081	
		(単+ド)	3,020	3,122	102	1,300	1,473	
	結核検診	X 線	25,100	24,364	△ 736	14,520	13,939	
		(単+定+ド+全)	110,840	110,159	△ 681	41,450	40,523	
人 間 ド ッ ク			36,445	35,280	△ 1,165	12,780	12,369	
全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防健診			30,500	31,895	1,395	5,950	6,216	
腹部超音波検査			35,155	34,170	△ 985	11,800	11,595	
		(単+全)	36,040	35,164	△ 876	12,050	11,821	
一 般 検 査		定	A健診	53,690	53,830	140	19,650	19,815
		健	B健診	15,670	15,559	△ 111	7,550	7,464
		その他(延べ件)		552,915	548,096	△ 4,819	217,150	216,727
学 校 検 診 (延べ件)			50,210	49,836	△ 374	4,150	4,541	
細 胞 診 検 査 (件)			5,910	6,141	231	5,910	6,141	
前 立 腺 が ん 検 診			22,950	22,826	△ 124	7,050	6,982	
骨密度測定		US	14,800	15,940	1,140	1,120	1,405	
		DXA	2,910	2,527	△ 383	2,910	2,527	
肝 炎 ウ イ ル ス 検 診			3,510	4,071	561	500	1,008	
受付問診等		人	4,383	4,287	△ 96	2,668	2,561	
料金徴収		件	27,470	26,847	△ 623	8,020	7,441	
結果送付		件	86,490	87,218	728	36,920	36,559	

(注1) 単=単独検診 定=定期健康診断 ド=人間ドック
全=全国健康保険協会管掌健康保険生活習慣病予防健診

(注2) 上記各種検診には、離島や過疎地における出張検診、社会福祉施設等の健康診断を含む

事務の実績人員 (単位：人)

庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
16,570	15,928	5,440	5,588	4,150	4,421	10,190	10,210
625	530	695	665	270	257	325	334
11,920	11,412	3,660	3,626	5,570	5,627	8,420	8,259
25,460	24,855	13,785	13,417	11,740	11,505	16,905	16,835
17,460	16,945	5,575	5,948	7,090	7,458	12,400	12,140
34,150	34,062	17,675	17,919	14,240	14,429	22,355	22,546
4,240	4,458	1,865	2,023	2,500	2,592	4,810	4,386
9,210	9,162	3,970	4,071	4,490	4,458	7,485	7,027
	7	429	421				84
	17	1,234	1,177		7		92
1,195	1,345	1,735	2,212	1,360	2,421	535	1,441
3,605	3,665	5,020	5,390	2,620	3,606	1,555	2,674
2,115	2,079	835	453	1,130	166	4,685	3,384
3,485	3,217	1,010	572	1,450	408	6,385	4,853
80	74	205	30				
80	75	205	30				
	40						
10	13			10		30	20
15,990	15,520	6,875	7,194	3,560	3,832	9,770	9,645
24,730	24,158	14,225	14,221	5,700	5,665	14,135	13,933
320	275	270	253	220	224	405	402
400	331	630	619	235	245	455	454
4,030	3,960	1,525	1,471	2,825	2,822	2,200	2,172
25,140	25,294	12,165	12,167	16,985	16,576	15,100	15,599
9,275	9,064	7,715	7,334	2,250	2,084	4,425	4,429
8,350	8,775	4,900	5,169	5,350	5,270	5,950	6,465
8,010	7,213	6,190	6,122	4,000	3,931	5,155	5,309
8,220	7,460	6,350	6,326	4,130	4,092	5,290	5,465
12,870	12,906	5,690	5,649	8,270	8,170	7,210	7,290
3,350	3,423	970	943	2,750	2,626	1,050	1,103
119,905	118,559	58,655	58,657	89,000	85,583	68,205	68,570
19,650	19,566	6,950	6,653	15,660	15,224	3,800	3,852
8,340	8,265	2,735	2,752	1,550	1,514	3,275	3,313
6,400	6,839	2,405	2,609	1,750	1,810	3,125	3,277
845	857	935	956	200	211	1,030	1,039
904	921	250	265	55	51	506	489
9,230	8,958	3,355	3,519			6,865	6,929
26,370	27,551	12,245	12,591	1,100	1,071	9,855	9,446

(参考資料)

各 種 検 診 事 業

検診・検査項目	平成29年度		増減	山形検診センター	
	計画	実績		計画	実績
特 定 健 康 診 査	386,355	382,238	△ 4,117	130,599	127,179
特 定 保 健 指 導	33,372	34,565	1,193	12,309	15,328
胃 が ん 検 診	224,935	217,288	△ 7,647	86,814	81,855
大 腸 が ん 検 診	107,496	105,745	△ 1,751	39,456	37,939
子 宮 頸 が ん 検 診	78,923	78,602	△ 321	22,260	21,182
乳 が ん 検 診	84,461	76,588	△ 7,873	21,433	19,598
呼 吸 器 検 診	89,576	88,076	△ 1,500	36,186	35,092
人 間 ド ッ ク	762,827	732,777	△ 30,050	276,481	265,852
全国健康保険協会管掌健康保険 生活習慣病予防健診	498,866	514,430	15,564	97,528	98,894
腹 部 超 音 波 検 査	140,620	136,680	△ 3,940	47,200	46,380
一 般 検 査	643,976	643,904	△ 72	243,000	244,766
学 校 検 診	28,151	27,861	△ 290	2,393	2,677
細 胞 診 検 査	6,619	6,877	258	6,619	6,877
前 立 腺 が ん 検 診	50,490	50,225	△ 265	15,510	15,370
骨 密 度 測 定	17,660	17,813	153	6,716	6,185
肝 炎 ウ イ ル ス 検 診	10,074	11,718	1,644	1,427	2,904
受 託 料 収 入	42,343	54,026	11,683	18,692	30,508
合 計	3,206,744	3,179,413	△ 27,331	1,064,623	1,058,586

(注1) 千円未満切り捨て

の 収 入 実 績 (単位：千円)

庄内検診センター		最上検診センター		米沢検診センター		南陽検診センター	
計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
116,550	112,110	38,707	39,547	28,961	31,548	71,538	71,854
6,914	6,110	6,630	6,427	3,435	2,652	4,084	4,048
56,100	53,904	17,175	17,063	26,283	26,436	38,563	38,030
27,936	27,035	8,920	9,464	11,344	11,902	19,840	19,405
16,960	17,881	10,463	11,039	10,000	10,368	19,240	18,132
15,700	16,222	10,465	9,751	10,236	8,523	26,627	22,494
22,271	21,492	9,795	10,066	7,050	7,379	14,274	14,047
185,796	180,901	157,850	148,691	47,080	43,132	95,620	94,201
135,270	140,910	78,284	82,633	90,454	88,704	97,330	103,289
32,040	28,852	24,760	24,488	16,000	15,724	20,620	21,236
158,992	157,322	67,844	67,385	96,406	95,306	77,734	79,125
9,998	9,671	5,062	4,860	6,950	6,909	3,748	3,744
18,348	18,183	6,017	6,054	3,410	3,330	7,205	7,288
5,120	5,472	1,924	2,087	1,400	1,448	2,500	2,621
2,442	2,477	2,695	2,763	556	590	2,954	2,984
9,871	10,528	4,143	4,458	2,650	2,221	6,987	6,311
820,308	809,070	450,734	446,776	362,215	356,172	508,864	508,809

施策 9 効率的な業務の執行

【事業推進の基本的考え方】

- ・新たに職員提案制度を導入するとともに、組織間の連携協力体制を強化し、効率性の高い検診を行います。
- ・意思決定のプロセスを明確にするとともに、情報を共有する場として定期的に管理者会議を開催します。
- ・契約制度の見直し、コスト節減に向けた運動等を行い、経費節減のための取り組みを強化します。

【主な目標】

- | | |
|-----------------|------------|
| ・職員提案制度 | 毎年度 |
| ・契約（調達）制度の見直し | H27 |
| ・業務の外部委託 | H28 委託業務決定 |
| ・経常収支の収支均衡 | H26～ 毎事業年度 |
| ・財務関係目標値（健全な運営） | |

【評価：一部達成】

（1）がん検診見直しに対する緊急対策を策定

① 胃がん検診受診者減少対策 【評価：未着手】

【達成水準】 がん検診見直しに対する対策を検討する

- ・がん検診見直しに対する具体的な対策の検討が未実施。計画を早期に策定し、全検診センターでの取り組みが必要。

② 収入増加対策

施策 8-（1） 再掲

③ 人件費を含めた費用抑制対策 【評価：達成】

【達成水準】 人件費率を事業活動収入の 60%未満を経営上の目安とする

- ・平成 29 年度の人件費率は、58.5%。《人件費/事業収入（受託料収入含） 58.8%》

④ 検診料金の改定

施策 8-（4） 再掲

⑤ 長期性預金の積立 【評価：未実施】

【達成水準】 5 億円以上

- ・がん検診の収入減少に備える長期性預金から、土地・減価償却資金整備への対応に切り替えたため、実施なし。

（2）効率性の高い検診の確保

① 職員提案制度の充実、実施 【評価：達成】

【達成水準】 職員提案 10 題以上の推薦提出

- ・職員提案制度はテーマを「環境保全エコオフィス活動に関するもの」に絞り募集し、11 件の応募があり、内部審査会を経て、実現可能性が大きく経費軽減及び事務の効率化が期待できる 2 件を採択したが、時期が 3 月であるため、実現に向けた取組みは次年度へ繰越し。
- ・推薦提出件数は、以下の通り。

項目	山形 C	庄内 C	最上 C	米沢 C	南陽 C	合計
推薦提出数	3 件	1 件	4 件	0 件	3 件	11 件

(3) 経費節減に向けた取組みの強化対応

① 機種等選定委員会、業者指名選定委員会、競争入札制度等の開催、実施 【評価：達成】

【達成水準】 50 万円以上の印刷の発注、100 万円以上の物品の購入、業務の委託、修繕、請負等については委員会で審議

- ・機種等選定委員会にて、整備対象の物件の現状及び耐用年数等を確認のうえ、必要最小限の固定資産整備を実施。

【達成水準】 10 万円以上 100 万円未満の契約については、全て 3 社以上の見積もり徴取

- ・公益法人として適正な契約制度となるよう見直し、固定資産の購入、請負、委託等を含むあらゆる契約に関する適正な契約事務を図るため、会計処理規程を一部改正。

② 外部委託 【評価：達成】

【達成水準】 外部委託業務の検討、平成 30 年度予算計上

- ・確実に経済的・事務効率化等の効果が認められる業務として、平成 30 年度から公用車をリース契約開始。

(4) 中期運営計画の評価と見直し

① 中期運営計画の評価と見直し 【評価：達成】

【達成水準】 中間評価委員会の開催、中期運営計画の見直し

- ・7 月 25 日に中間評価委員会を開催し、中期運営計画の見直しを行い、平成 30 年度の計画に反映。内容については概ね良好の評価。

施策 10 変化に対応できる柔軟な組織づくりと人材育成

【事業推進の基本的考え方】

- ・検診機関をめぐる様々な環境変化に柔軟に対応できる組織づくりと適切な人員の配置を進めるとともに、公益法人として適切な給与制度について、絶えず検討、見直しを行います。
- ・専門ごとの医師の確保対策を進めるとともに、専門技術職の採用・確保のため採用方法等を見直します。
- ・職員の意識改革を進めながら、役職に応じた業務の分析・対応能力を備えた人材の育成を図るとともに、働きやすい職場環境の整備を行います。

【主な目標】

- | | |
|-------------------|------------|
| ・人員管理計画の策定 | H27 上期 策定 |
| ・採用試験等の見直し | H28 実施 |
| ・給与制度 | |
| ・類似団体等調査 | H26 |
| ・人件費率目標等の設定 | H26 |
| ・給与制度の見直し点検 | 毎年度 |
| ・採用パンフレットの作成 | H27 作成 |
| ・嘱託職員の雇用の在り方 | H26 方針決定 |
| ・人材育成方針の策定 | H26 |
| ・自発的な勉強会への支援制度の整備 | H27 |
| ・職員考課制度 | H28 本格実施 |
| ・働きやすい職場づくり | 毎年度 運動方針決定 |

【評価：未達成】

(1) 組織の見直しと職員数の管理

① 5つの検診センターのあり方 素案作成 【評価：未達成】

【達成水準】 平成 29 年度 5つの検診センター運営（素案）の策定

- ・検診センター在り方検討会の設置について決定したが、委員会の開催に至らず。
- ・目標としていた素案をまとめるに至らず、次年度へ繰越し。

② 最上検診センター改築整備計画 素案作成 【評価：未達成】

【達成水準】 平成 29 年度 最上検診センター整備計画（素案）の策定

- ・改築整備検討委員会を2回開催。今後の人口動向や、対策型検診施設としての機能を検討したが、委員会素案を取りまとめるまでに至らず、次年度へ繰越し。

③ 各検診センターの機能、業務量、職員構成等の検証を行い、今後の適正な人員配置を検討

【評価：一部達成】

【達成水準】 人員管理計画の策定

- ・各所属からの次年度組織、人員配置要望等をもとに検討整理し、配置実施。
- ・組織見直しは、山形検診センターに副所長（総務担当）、精度管理担当課長、健康支援主幹等を新設。

(2) 医師・専門技術職の確保対策の推進

① 医局医師の新たな体制整備 【評価：達成】

【達成水準】 内科医師 10 名、子宮がん医師 1 名、乳がん医師 1 名（H28 と同様の婦人科医師確保）

- ・平成 29 年度医局医師体制は、内科医師 10 名、子宮がん医師 1 名、乳がん医師 1 名。
- ・婦人科医師について、新たに協力医師として開業医 3 名の協力を確保したが、常勤医師の確保が困難。

(3) 公益法人としての適切な給与制度の検討

① 人件費等

- ・施策 9-（1）、施策 10-（5） 再掲

② 働く職員が報われる給与制度の検討 【評価：未達成】

【達成水準】 給与制度の方向性を見直し案をまとめる

- ・退職金の引き下げ等多くの見直しが終了するも、課題の「給与のわたり運用」や「勤務評価の給与への反映」等の見直し検討は、次年度に繰り越し。
- ・結核予防会及び県内同類機関の給与・昇給管理等の調査をするも分析までに至らず。
- ・給与の見直しについては、最大の課題である給料表のワタリ運用の見直し検討を次年度の課題として取り組むことが必要。

(4) 計画的な人材の育成

① 変化に対応できる人材育成のための中長期的な研修計画の策定 【評価：未達成】

【達成水準】 人材育成計画（案）を検討しまとめる

- ・外部委託派遣研修（学会等含む）は、年 55 箇所 延べ 111 名を派遣。
- ・独自研修の企画、充実強化は、渉外担当プロ養成セミナー、渉外担当者育成支援「応援日報」、シニア向けのネクストキャリア研修、職員の内部発表の場としてアフタヌーン研修会、各専門職内部研修を実施。
- ・職員全体研修会（職員考課制度研修）を 2/26、2/27、2/28 に実施。
- ・人材育成については、若手職員の活力醸成及び職階級の計画的な人材養成を継続し実施することが必要。

② 職員考課制度の運用拡大の検討 【評価：未達成】

【達成水準】 職員考課制度の運用拡大の手法整理

- ・山形県職員の実施内容等について情報収集するも手法整理に至らず。職員考課制度（5 年目）の見直しは未実施。
- ・職員考課制度は、勤務評価の給与への反映を行う時期。次年度の課題として取り組むことが必要。

③ 職員の意識改革と活力ある職場づくり 【評価：未達成】

【達成水準】 経営理念の策定及び社章の作成

- ・山形県工業技術センターを 9 月に訪問しアドバイスをもとに、紹介企業より情報収集したが、経営理念の策定及び社章の作成まで至らず。

(5) 働きやすい職場づくり

① 同一賃金同一労働への対応検討 【評価：未達成】

【達成水準】 工程表の作成

- ・山形労働局や社労士へ、法改正を踏まえて調査を行うも、具体的な計画に至らず。
- ・同一労働同一賃金の法改正を踏まえた対策を急ぐことが必要。

② ワークライフバランスの推進 【評価：未達成】

【達成水準】 有休取得率（当年度付与）50%取得達成率 100%

時間外縮減 前年比 1 割減（全体）

・所属所ごとの年次有給取得率 50%の達成率は、以下の通り。

所 属	正規職員数	目標達成者数	50%取得達成率
山形 C	74	37	50.0%
庄内 C	34	15	44.1%
最上 C	28	19	67.9%
米沢 C	22	16	72.7%
南陽 C	26	23	88.5%
合計	184	110	59.8%

- ・働きやすい職場づくりに向けた取り組みで方針を通知し、健康維持、ワークバランスを図りつつ、効率的な業務執行に向けて、各検診センターで具体的数値目標を設定し展開。しかし、トラブルへの対応が発生したこともあり、前年比 2,337 時間の増。
- ・時間外勤務は、前年度比で 1.1 倍になるなど、時間外管理が問題化。縮減のための管理職の意識改革と取り組みの促進が必要。
- ・働きやすい職場づくりとして、ワークライフバランスの視点を内包した働き方改革を整理することが必要。

時間外勤務時間の緊縮状況

（単位：時間）

所 属	前年度実績	本年度目標	本年度実績	目標値との比較
山形 C	9,877	8,000	9,980	1,980
庄内 C	3,652	3,550	6,608	3,058
最上 C	1,949	1,880	2,286	406
米沢 C	2,151	1,900	1,452	△ 448
南陽 C	2,384	2,300	2,024	△ 276
合計	20,013	17,630	22,350	4,720

(6) その他

① 環境保全エコオフィス活動 【評価：一部達成】

【達成水準】 平成 33 年度までに平成 28 年度比

電気使用量 5%以上減、用紙使用量 5%以上減、ガソリン、軽油購入量 5%以上減

灯油、重油購入量 3%以上減、水の使用量 3%以上減

・5 月に環境保全エコオフィス活動実施 5 ヶ年計画を基に各検診センターの各年度単位の目標値を設け展開。

電気使用量	目標比	5,152 Kwh 増	(+ 0.4%)
用紙使用量	目標比	63,602 枚増	(+ 3.2%)
ガソリン等購入量	目標比	3,396 ℓ 増	(+ 3.6%)
灯油重油購入量	目標比	2,489 ℓ 増	(+ 5.2%)
水の使用量	目標比	835 ℓ 減	(△10.5%)

② 蔵王噴火の場合の災害対策の策定 【評価：未達成】

【達成水準】 計画の策定

- ・蔵王山噴火による冬期の融雪型洪水を踏まえた、山形検診センターにおける被害想定、予定、応急、復旧対策等の計画を策定。「蔵王山噴火に伴う避難計画（案）」の決定及び避難計画とその訓練実施まで至らず。

3 法人運営等

1 評議員会

開催日	会議名	議題事項
平成 29 年 6 月 23 日	第 1 回 (定時) 評議員会	「平成 28 年度事業報告」報告の件 「平成 28 年度貸借対照表・ 正味財産増減計算書及び財産目録」承認の件 「評議員の辞任に伴う後任者の選任」の件 「役職員の報酬及び給料等の状況」報告の件 出席評議員 5 名 出席理事 5 名 出席監事 1 名
平成 29 年 9 月 11 日	第 2 回 (臨時) 評議員会	「公益財団法人やまがた健康推進機構定款の 一部を改正する定款の制定」承認の件 評議員全員の書面同意決議
平成 30 年 3 月 19 日	第 3 回 (臨時) 評議員会	「理事選任」の件 評議員全員の書面同意決議

2 理事会

開催日	会議名	議題事項
平成 29 年 4 月 1 日	第 1 回 (臨時) 理事会	「副理事長の選任」承認の件 理事全員の書面同意決議
平成 29 年 6 月 7 日	第 2 回 (通常) 理事会	「平成 28 年度事業報告及び附属明細書」承認の件 「平成 28 年度決算財務諸表及び財産目録」承認の件 「平成 28 年度資金収支計算書」承認の件 「平成 28 年度収支相償等の計算書類」報告の件 「定時評議員会の招集及び提出議案」承認の件 「平成 28 年度理事の取引」報告の件 「専務理事の報酬額」承認の件 「基幹システムの更新について」報告の件 「基幹システムの更新に係る積立資金の設置」承認の件 「特定資産取扱規程の一部を改正する規程」承認の件 「会計処理規程の一部を改正する規程」承認の件 「平成 29 年度資金収支補正予算」承認の件 「医師採用等に関する要綱の一部を改正する要綱」承認の件 「検診・検査料金の変更等について」報告の件 「がん総合相談支援センターについて」報告の件 「会計指導法人の変更について」報告の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事 9 名 出席監事 2 名
平成 29 年 9 月 6 日	第 3 回 (臨時) 理事会	「平成 29 年度事業実施計画の変更」承認の件 「平成 29 年度収支予算の変更」承認の件 「平成 29 年度資金収支予算の補正」承認の件 「組織規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「公益目的事業の変更認定申請」承認の件 「平成 29 年度第 2 回臨時評議員会の決議の省略」承認の件 「重要な使用人の選任」承認の件 「育児休業及び育児短時間勤務に関する規程の 一部を改正する規程の制定」承認の件 理事全員の書面同意決議
平成 29 年 11 月 15 日	第 4 回 (臨時) 理事会	「平成 29 年度資金収支補正予算」承認の件 理事全員の書面同意決議

開催日	会議名	議題事項
平成 29 年 12 月 13 日	第 5 回 (臨時) 理事会	「平成 29 年度事業実施状況」報告の件 「平成 29 年度資金収支中間決算見込」報告の件 「平成 29 年度資金収支補正予算」承認の件 「平成 30 年度検診・検査料金」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事 9 名 出席監事 1 名
平成 30 年 3 月 13 日	第 6 回 (通常) 理事会	「平成 29 年度資金収支補正予算」承認の件 「第 1 次中期運営計画の見直し」報告の件 「平成 30 年度事業実施計画」承認の件 「平成 30 年度収支予算」承認の件 「平成 30 年度資金収支予算」承認の件 「特定健康診査等に係る料金の設定」承認の件 「理事会運営規則の一部を改正する規則の制定」承認の件 「会計処理規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「給与規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「退職金支給規程の一部を改正する規程の制定」承認の件 「平成 30 年度理事の取引」承認の件 「重要な使用人の選任及び解任」承認の件 「平成 29 年度やまがた健康推進機構労働組合との話し合いの経過」報告の件 「時間外労働及び休日労働に関する協定の締結」承認の件 「業務執行状況」報告の件 出席理事 10 名 出席監事 2 名
平成 30 年 3 月 16 日	第 7 回 (臨時) 理事会	「平成 29 年度第 3 回臨時評議員会の決議の省略」承認の件 理事全員の書面同意決議

3 役員等に関する事項 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

評議員 8 名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
評 議 員	貝沼 浩則	H29. 6. 23	平成 32 年開催の定時評議員会 終結の時まで	
	神村 裕子	H28. 6. 29		
	国井 富彦	H28. 6. 29		
	今田 裕幸	H28. 6. 29		
	富田 博	H28. 6. 29		
	中條 明夫	H28. 6. 29		
	細矢 貴亮	H29. 6. 23		
	松田 一彦	H28. 6. 29		

五十音順

理事 10 名・監事 2 名

役名	氏名	就任年月日	任期	備考
理 事 長	徳永 正靱	H28. 6. 29	平成 30 年開催の定時評議員会 終結の時まで	代表理事
副理事長	菊地 惇	H28. 6. 29		
専務理事	土海 安雄	H28. 6. 29		業務執行理事
	上野 俊幸	H28. 6. 29		
	粕川 俊彦	H28. 6. 29		
	栗谷 義樹	H28. 6. 29		
	小林 正義	H28. 6. 29		
	後藤 敏和	H29. 4. 1		
	三條 典男	H28. 6. 29		
	深尾 彰	H28. 6. 29		
	奥山 享	H28. 6. 29		
監 事	粕谷 真生	H28. 6. 29		

五十音順

顧問 1 名

役名	氏名	委任年月日	備考
顧 問	有海 躬行	H26. 6. 27	

平成 29 年度内に退任された評議員

退任時の役名	氏名	就任年月日	退任年月日	備考
評 議 員	村形 弘也	H28. 6. 29	H29. 6. 23	

4 職員に関する事項 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

各検診センター所長及び副所長

所 属	職 名	氏 名	職 名	氏 名
山形検診センター	所 長	後藤 敏和	副所長	上野 俊幸
庄内検診センター	所 長	栗谷 義樹	副所長	佐藤 徳彦
最上検診センター	所 長	三條 典男	副所長	本間 隆宏
米沢検診センター	所 長	小林 正義	副所長	堀江 武虎
南陽検診センター	所 長	粕川 俊彦	副所長	荒井 信行

5 職種別職員数 (平成 30 年 3 月 31 日現在)

職 種	事務 業務	医師	診療放射 線技師	保健師	看護師	臨床検 査技師	管理栄 養士	細胞検 査士	合 計
正規職員	74 人	—	26 人	10 人	35 人	31 人	5 人	3 人	184 人
	△1 人	—	—	—	△1 人	2 人	—	—	—
機構医師 再雇用職員 嘱託職員	76 人	10 人	4 人	2 人	25 人	6 人	—	—	123 人
	—	△1 人	—	△1 人	—	△1 人	—	—	△3 人
合 計	150 人	10 人	30 人	12 人	60 人	37 人	5 人	3 人	307 人
	△1 人	△1 人	—	△1 人	△1 人	1 人	—	—	△3 人

※役員（専務理事、医療監、研究監）及び 5 所属所長（山形、庄内、最上、米沢、南陽）の 8 名を除き集計。

※医療技術職の管理職 3 名（技師長除く）は事務職に集計。

※H29 年度内中途退職（正規事務職、正規看護職）各 1 名含む。

※嘱託職員は年間の雇用人数。

※上段は平成 30 年 3 月 31 日の人数、下段は対前年度との増減人数を記載。

附属明細書

当該事業報告の記載をもって、附属明細書の記載を省略します。